

社会とともに

コーセーグループはお客さまや事業を通じて地域社会や国際社会と関わるだけでなく、社会との共生をはかって新しい時代を拓いていきたいと考えています。

盲導犬の育成・普及活動を支援

株式会社コーセーコスメポートは、売上の一部を全国盲導犬施設連合会に寄付しています。寄付金は盲導犬の育成や普及活動に役立てられたり、身体障害者補助犬健康管理手帳の制作などに活用されています。



ノーマライゼーション支援

コーセーは、障害者のノーマライゼーションと雇用促進にも積極的に取り組んでいます。特例子会社・株式会社アドバンスもその一つで、障害者と健常者が一緒になって化粧品の製造に従事しています。また、コーセー化粧品販売株式会社の秋田受注センターでは、2008年障害者雇用職場改善好事例コンテストで奨励賞を受賞しました。その他、養護学校の卒業予定者に対するメイクアップ指導を中心とした「おしゃれ講座」も毎年開催しています。



養護学校でのメイクアップ指導

エコキャップ活動に参加

エコキャップ推進協会が進めているペットボトルのキャップを回収する運動にも参加しています。この運動は開発途上国にワクチンを贈るといふもので、コーセーでは本社オフィス、研究所、生産部門、研修センターなどが中心になって実施していますが、コーセーコスメポート、中四国流通センターや中部ストア支店など事業所独自でも行っています。

スポーツや文化活動を支援

コーセーは社会貢献の一環として、スポーツ活動や芸術・文化活動の支援も積極的に実施しています。財団法人日本スケート連盟のスポンサーとしてフィギュアスケートやスピードスケートの様々な大会の支援を行っています。2008年11月に開催されたNHK杯国際フィギュアスケート競技大会では、女子選手のメイクアップを担当しました。また、財団法人日本水泳連盟に対しても、シンクロナイズドスイミングをコスメティックパートナーとして支援しています。芸術・文化面に対しても様々な支援活動を行っていますが、トークイベント「コーセー・アンニュアージュ・トーク」は1990年以来実施しています。



コーセー・アンニュアージュ・トーク

学術振興への支援

コーセーの学術支援活動はコスメトロジー研究振興財団等への支援や、大学との産学連携共同研究室の設立など多岐にわたっています。財団法人コスメトロジー研究振興財団はコーセーの創業者である小林孝三郎が、化粧品学（コスメトロジー）の発展のために1990年に設立しましたが、コーセーは財団の活動を支援しています。産学連携共同研究室は、東京大学薬学部とのコラボレーションで肌の老化に関係の深い「活性酸素」をテーマとした研究を続けていますが、その他、一般市民が参加できる早稲田大学オープンカレッジへの講師派遣、東京ヘアメイク専門学校への講師派遣、様々な大学への講師派遣などを通じて学術面への支援を積極的に行っています。



コスメトロジー財団の表彰・贈呈式

お取引先・株主の皆さま・社員とともに

コーセーグループは企業を取り巻く全てとよりよい共生をはかるために、お取引先をはじめ株主の皆さま、そして企業活動を支える社員一人一人とのパートナーシップが重要であると考えています。

ご販売店との共存共栄

コーセーは創業の頃よりご販売店との関係を重視してきました。化粧品専門店の一軒一軒と直接契約を結び、共存共栄を目指す経営の実践とともに、一緒になってお客さまへの親切な対応とカウンセリングの徹底を追究してきました。現在では、多様化したお客さまのニーズにお応えするために、様々な販売チャネルに合わせた化粧品を開発し、提供していますが、チャネルごとの状況に合わせてご販売店ときめ細かい信頼関係を築いています。

お取引先とのパートナーシップ

コーセーは、化粧品の原料や容器の材料をはじめ流通、施設の建設など様々な分野で多くの企業とお取引していますが、何よりも信頼関係が結ばれた強いパートナーシップが大事であると考えています。新しい原料の開発や、お客さまの利便や環境に配慮した化粧品容器の考案など、お取引先と協同して開発研究を実施することも積極的に行っています。

株主の皆さまとともに

コーセーは株主の皆さまの期待にお応えするために、経営の健全性や効率性を高めて安定した利益還元をはかる努力を続けています。優れた研究開発力、特長あるブランド群、強固な営業体制などコーセーグループの強みを最大限に生かしていくことはもちろん、経営改革や業務改革にも積極的に取り組んでいます。また、女性のためのIRセミナーを開催するなど、適正な情報開示によって株主や投資家皆さまの理解と信頼を得ることができるようIR活動に力を注いでいます。



女性のためのIRセミナー



株主優待品の一例

能力が発揮できる職場環境を

コーセーグループでは、「経営理念」のトップ項目に「ひとりひとりを大切に」を掲げ、人材育成とともに、社員一人ひとりが能力を十分に発揮することのできる健全な職場環境の整備に努めています。自らやりたいという情熱に応えるために、新しい仕事へのチャレンジチャンスとして人材公募制度を設けているのもその一つ。各部門からの募集に対して、現在の業務の事情を超えて応募できる制度で、募集側の要件を満たせば応募に規制はなく、誰でもチャレンジできます。

社員のアイデアを商品に

全社的な改革の一環として、2008年度から社員なら誰でも自分の考える商品のアイデアを提案できるKOSE アイデアコンテストを開催。日頃から、こんな商品があったらいいなと考えているアイデアを募集したところ2,348通もの応募がありました。優秀なアイデアには社長賞が贈られましたが、このコンテストから実際に市場に提供される化粧品が生まれる日もそう遠いことではありません。